

令和5年 6月 6日

川崎市議会議長 青木功雄様

多摩区在住者

教員不足の解消で子どもたちが安心して学べることを求める請願

2022年（令和4年）12月15日に提出し、11,445名の賛同を得た請願第43号が、本市議会局の誤った取扱いにより3月議会でも審議されずに廃案という事態が生じました。

議会終了後、請願者は、議会局との話合いで、本来、審議すべき請願を審議しなかったことについて、「請願権の重さを認識し、二度とミスを起こさないようにする。」「今回のでん末を書き加えて、新年度に請願を提出してほしい。」という点を確認しました。

少人数学級の促進や教員の欠員問題が審議されずに、2023年度（令和5年度）新学期を迎えたことは、とても残念です。一刻も早く審議が行われることを強く望みます。

請願の趣旨

「教師不足」問題が広がっています。学校現場では、病気休職や産休・育休などの代替教職員が見つからず、他の教職員や管理職が授業等を行うなど、深刻な実態があります。

また、長時間労働のため、睡眠時間5時間未満の教員が20%、熟眠感を得られていない教員が80%という現状（2021年度（令和3年度）川崎市教職員安全衛生委員会議事録より）は危機的です。

行き届いた教育を実現するためには、必要な教員を配置し、教職員の働き方を改善することを求めます。

子どもたち一人一人が尊重され、自分らしく成長していける場としての学校。教職員が自分の健康や家族を犠牲にすることなく、自らも成長できる場としての学校。そんな学校にしていくために、請願をいたします。

そのような学校にしていくために、以下の事項を請願します。

請 願 事 項

教職員の欠員を無くし、長時間労働を無くすこと。

紹介議員

渡 辺 学
重 富 達 也